

令和2年度

消防本部の方針書

組織名	消防本部
所属長名	菅谷和明

1. 組織の使命(ありたい姿)

持てる知識、技術及び資機材を最大限に活用し、市民の負託にこたえる

担当政策	政策3:豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
担当施策	3-3:災害に強いまちづくりの推進

2. 組織の抱える課題(現状)

- 1、職員個々の知識、技術の向上
- 2、消防団装備車両、資機材等の将来を見据えた検討
- 3、大規模災害の対応に向けた、消防署、各分署と消防団の連携

3. 今年度の『スローガン』

「ONE TEAM」 ～ ふるさとを護る ～

4. 今年度の方針

- 1、消防力向上と人材育成
- 2、安全管理の強化
- 3、災害に強いまちづくり

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	消防力向上と人材育成
	取組内容	1、消防職員としての自覚と服務規律の順守(健康管理と不祥事、ハラスメント等の撲滅) 2、現場経験の少ない若手職員の育成 3、各種資格取得に向けた助成
(2)	実現したい成果	安全管理の強化
	取組内容	1、多種多様な災害現場での安全管理ができる隊長級職員の育成 2、災害現場へ指揮隊が全て出動できる体制の構築 3、車両、資機材等の適切な管理運用
(3)	実現したい成果	災害に強いまちづくり
	取組内容	1、災害発生時の車両運用計画、指揮隊運用計画の検証 2、消防本部と消防団の連携強化 3、火災による被害軽減の取り組み(防火対象物の消防用設備等の違反是正、住宅用火災警報器の設置率向上と機器の維持管理) 4、警防計画に基づく各地域の大規模災害対応訓練の実証実験 5、高機能指令センター更新に向けた取り組み

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

今年度は新型コロナウイルスにより、重点取組の中で一部影響を受けているものもあるが概ね順調に経過している。消防力向上と人材育成では、消防大学校や各種研修会等の中止や開始期日を遅らせたり終了期日を伸ばしたり職員個々はもちろんのこと、各所属の勤務体制等にも影響を与えた。その中で、今年度採用になった職員の消防学校で行われた初任教育は予定通り行われ、約6か月間の教育期間を無事修了し所属にて消防業務に従事している。更なる飛躍を期待している。

また、若手職員の育成については、各所属にて教育がしっかり行われており消防力向上に努めている。安全管理の強化では、訓練中の怪我や物損事故が発生しており所属長や指導する立場の職員の更なる安全管理能力の向上に努めていきたい。

災害に強いまちづくりの消防団との連携強化では、新型コロナウイルスの影響により今年度予定されていた操法大会、各種訓練や行事が中止となり消防団員のモチベーションや技術の維持に不安がありましたが、災い転じて福となすではありませんが、新たな取り組みとして様々な研修や消防署、各分署での訓練等が出来たことで連携強化が図られたものと感じている。

また、各課室、消防署、各分署が取り組んでいる取り組みも新型コロナウイルスの影響を受けながらも着実に進んでいる。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

今後も新型コロナウイルスの感染状況やインフルエンザの流行等により様々な影響が予想されるが、各課室、消防署、各分署が掲げている方針や重点取組の達成に向けて創意工夫をしながら進めていきます。

その中でも、消防職員としての自覚保持と服務規定の遵守については、全国各地で消防職員の不祥事が発生しており、その都度、注意喚起等を行っているが当本部からは絶対出さないという強い意志を職員個々がしっかり持って努めていきます。

災害に強いまちづくりの取り組みとして、住宅用火災警報器の設置率向上に向けた取り組みについては、新型コロナウイルスの感染状況や新しい生活様式等を踏まえた中で様々な手立てを取りながら進めていきます。

また、消防団との連携強化については惨事ストレス研修会、秋の火災予防運動や冬期間の消防水利確保等を通して連携しながら災害に強いまちづくりに努めていきます。

最後に、消防本部からコロナウイルス感染者を出さないよう職員個々が感染防止策をしっかり図りながらそれぞれの業務に取り組んでいきます。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により予定されていた様々な行事が中止または延期などの影響が出た中で、新しい生活様式である感染防止と密を避けながら、消防本部全体として創意工夫をしながら今年度掲げている方針や重点取組について進めてきました。

消防力向上と人材育成については、秋田県消防学校で行われた教育研修では感染防止等に努めながら行われ、予定されていた研修はすべて終了しました。その他、研修の一部についてはウェブを使って行われましたが、殆どが中止や延期のため、当初の目標には届くことができませんでした。

安全管理の強化については、訓練において資機材の破損や怪我人が出るなど安全管理について更なる指導と責任者の教育の必要性を感じました。

災害に強いまちづくりについては、新型コロナウイルス感染症拡大により消防団事業の殆どが中止となり、消防団員のモチベーション、技術等の低下が心配されましたが、新型コロナウイルス感染症防止に関する研修や惨事ストレス研修など新たな取組や、各支団で訓練等を行うなど創意工夫をしながらモチベーションや技術の維持に努めました。

防火対象物の消防用設備等の違反是正については、事業者の理解を得ながら違反是正が進んでおり今後も粘り強く進めていきます。

未だ新型コロナウイルス感染症の終息がみえない状況ですが、市民の安全安心のためどのような状況下であっても市民の要請にこたえられるよう業務に取り組んで参ります。